

令和5年度放課後等デイサービス自己評価表(まとめ)

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・新事業所が出来たので広さは十分確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	・適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・玄関にスロープがあるとよい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・毎朝及び行事の前後に打合せを行い、職員間で検討・確認をしながら進めている。パート職員にも確認してもらっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・1月後半にアンケート調査を行い保護者の意見を把握している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・2月の保護者会で説明し、3月にHPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・指導法、危機管理、支援計画等について計画的に研修を行っている。 ・県や他機関が主催するオンライン研修も活用している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・連絡帳や送迎時の保護者との情報交換を共有し、計画を作成する際には職員で支援会議を開いて検討している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・標準化されたものを参考にした自作のチェックシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・日々の活動の流れや行事の立案など、毎回打ち合わせを行っている。 ・若手にも企画立案してもらい新しい活動を取り入れている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・集団活動、作業、制作などを曜日別に設定している。 ・子どもの実態に合わせて変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・休日や長期休暇では工場見学、体育館活動、消防署見学・体験、ボランティア団体の招待など様々な取組を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・子どもの特性や日々の状態に配慮しながら集団活動と個別活動を組み合わせて活動計画を考えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・朝の打合せで、前日の子どもの様子や当日の流れ・内容・配慮事項を確認し、パート職員とも確認しながら進めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・送迎の関係から翌日の打合せで振り返りを行い、送迎時の保護者情報も合わせて情報共有をしている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・個々の連絡帳に気付いた点を記入し、保護者からの意見や感想は打合せで確認して支援の改善を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・相談員と定期的に連携して、成果や課題を確認している。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	・基本活動を組み合わせながら幅広い活動計画を立てている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・担当者会議には児発管が参加し連携している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	・学校からの通知(行事、下校時刻)を参考にして活動計画を立てている。 ・必要に応じて学校や教育委員会と連携して調整を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・現在対象児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・対応が困難なケースなど必要に応じて児発事業所や相談員と連携して情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・現在対象児はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・発達障害者総合支援センターや民間の研修機関等のオンライン研修を活用している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・地域の学童と交流できるように関係機関と協議している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	・地域の自立支援協議会や障害者連絡会議に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・保護者が話しやすい雰囲気づくりに心がけたり、送迎の職員を交代するなどして状況把握・共通理解に努めている。 ・大きな課題と思われる時には相談の機会を設定して対応するようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・支援の必要な保護者には、対面や電話等で相談支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・連絡帳や電話、送迎の際などで保護者への相談支援を行っている。特に保護者が悩んでいる時には面談を設定している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・年2回保護者会を開き、活動報告を行い、保護者間で悩み事の交流を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・不安や誤解がありそうな場合、早めに相談を持ちかけるようにしている。 ・解決できる課題から早めに対策を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・LINEを利用してその都度必要な情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	・個人情報には鍵付ロッカーに保管し、職員の言動についても注意している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・ホワイトボードに写真やカードをはって活動の流れを確認したり、簡単な手話を使って補ったりして配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・地域住民を対象とした施設見学会を設定した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・各マニュアルを策定し訓練を実施している。ただし保護者への周知については課題である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・火災や地震を想定した避難訓練、通報訓練、消火器訓練を実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・チェックリストで日頃の行動チェックを行ったり、職員研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・現在対象児はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・現在対象児はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・事故に結びつきそうな事例については、ヒヤリハット報告書に記入している。 ・少しのことでも事例として残して、お互いの参考としている。